

令和3年10月1日

会員各位

跡見学園後援会

会長 見米 孝尚

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は会の運営に何かとご指導ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

後援会定期総会の書面議決の集計結果（R3.7.21付）を学園ホームページでご報告させていただきましたが、その際お伝えしました「学園との意見交換会」が9月2日に実施されましたのでご報告いたします。

昨年度に引き続き、理事長、常務理事の他、中学校高等学校校長と女子大学学長にもご出席いただき、実際の教育現場の様子を伺うことができました。

I 「令和3年度後援会予算の特徴について」 （補足説明）

令和3年度大学の新入生が定員を下回り、会費収入が470万減となりましたが、令和2年度同様、以下のとおりコロナ禍における予算編成に努めました。

1. 学園への寄付金を減額

2. 育英資金助成金を減額し、同額を助成費に組み入れる

修学援助を目的とした育英資金助成について、令和2年度申請者が大学では増加しましたが中高ではわずかでした。一方、国際交流・課外活動の実施を希望する学生・生徒は多く、不透明な現況ではありますが、催行されることを前提に一般教育助成費を増額しました。

3. 新型コロナ対策教育支援寄付金を減額

依然コロナ禍ではありますが、令和2年度においてWi-Fi環境の整備、感染対策備品の購入など進めることができたので、今年度は減額することにしました。

4. 事業費・会議費の減額

会議・総会・懇親会などの中止により事業費・会議費は減額。通信費は今年度も書面総会となり令和2年度と同額としました。

5. 積立金を減額

新型コロナ対策教育支援寄付金および一般教育助成費を充実させるため減額。

6. その他 令和2年度の実績をもとに作成しました。

後援会としては、「新型コロナ対策教育支援寄付金」がどのように学生・生徒に活用されたのか検証していく予定です。今後ともご指導ご協力のほどよろしくお願いいたします。

II 役員選任について

現況、対面での活動が制限されており、規約に則り引き続き前年度の役員の方々にお諮りして6月19日の常任役員会でご承認をいただきました。

III 「学園との意見交換会」について（開催報告）

【主な内容】

後援会総会（書面議決）の際に、会員の皆様から頂戴した貴重なご意見に関しまして、この意見交換会で全てご報告させていただきました。

（抜粋）

- ・学生教職員が安心して対面授業ができるようワクチンの集団接種は検討されているのか
- ・新座キャンパスのバス代、学食の一部負担を検討いただけないか。（バス・学食・学内物販等に利用できる金券を配布するなど、大学が学生のためにやってくれていると感じられることが大事）
- ・安全を考慮したうえで出来る限り課外活動や行事の催行をお願いしたい

コロナ禍の学校教育活動報告について、中学校高等学校校長、女子大学学長よりそれぞれ説明がなされました。

学園からは、コロナ禍で先送りされていた耐震や学生・生徒の学習環境向上のための設備改修の実施予定について報告がなされました。

（中高）

- ・少しでも多くの行事・課外活動が実施できる様工夫をする。
例：文化祭は延期して実施予定。

（大学）

- ・オンライン授業のスキルアップ（教員によってオンライン授業のバラつきがある為）
相談窓口の充実（対象を生徒だけでなく兼任教員へ拡大）

- ・ 就活支援、企業の情報収集、ウェブによる面接指導
- ・ ワクチン接種については、学園単体では難しい。文京地区では東京大学での集団接種を学生に案内済みである。

オンライン授業では得られない、先生、友人とのネットワークの構築のため、少しでも多く対面授業の実施に向けて努めていきたい。

以上